

燕市 農業委員会だより



令和5年2月／燕市農業委員会編集・発行
〒950-0295 新潟県燕市吉田西太田1934番地

電話 0256-77-8251 (直通)
FAX 0256-77-8504

ホームページアドレス
<http://www.city.tsuabame.niigata.jp>

農業者年金

加入のすすめ

燕市農業委員 山崎 登美雄

(農業者年金加入推進部長)

農家の皆さん、毎日の農作業お疲れ様です。安心して過ごされるあなたの老後生活への備えは十分ですか。そこで、農業者年金の加入要件・加入することによって得られるメリットについてお話いたします。

国民年金被保険者で、年間60日以上農業に従事している60歳未満の方であれば、男女問わず幅広く加入することができます。

加入者の積み立てた保険料と、その運用益を合わせた額により受け取る金額が決まる、少子高齢化の時代でも安心できる積立方式・確定拠出型の年金で、保険料の額も、月2万円から6万7千円までの間で、千円単位で自由に選択ができ、農業経営の状況や老後の生活設計に合わせて、加入後はいつでも変更、見直すことができます。また、支払った保険料が全額社会保険料控除の対象となり、税制面でも優遇があり節税になります。

ここで話をさせて頂いた農業者年金のことは、ほんの一部にすぎません。まだ沢山のメリットがございます。是非、国民年金の上乗せ年金として、安心でゆとりのある豊かな老後の生活の為に農業者年金の加入をおすすめいたします。

加入のご相談は、身近な農業委員

またはJAにお願いします

大河津分水路「令和の大改修」の 視察研修に行きました

研修委員会

11月28日に大河津分水路「令和の大改修」の現地に視察に行ってきました。この改修事業は当時の戦後最大規模である昭和56年8月洪水と同規模の洪水に対して家屋の浸水被害の防止又は軽減を図ることを目的に、河口部の拡幅や橋の架け替えをするものです。

その後発生した、令和元年東日本台風洪水では戦後最大規模を更新し、信濃川流域で甚大な被害が発生しました。今後このような大雨が発生した場合に被害が出ないように大改修が行われているものです。

大河津分水路が洪水から越後平野を守るため、また、未来の産業の発展のために重要な役割をもたらしていることを改めて痛感いたしました。



新人農業委員 の一言



燕市農業委員
澁木 誠治
(砂子塚)

このたび、燕市農業委員に任命され、1年6ヶ月が経過しました。当初は毎月の総会に提出される議案の農地法及び農業経営基盤強化促進法等の用語に戸惑い、許可申請の件数の多さに驚きました。また、新型コロナウイルス感染症拡大のため、研修・行事等に制約があるなか、田んぼアートの田植え、稲刈り作業や小学生を対象に文化祭に合わせ食育の啓発ポスターを作製、掲示等の作業に参加することができました。そのなかで、耕作地が適正管理されているかの調査のため、農地パトロールを実施し、耕作放棄地の確認指導を行うとともに、今後、耕作者の高齢化、後継者不足、社会情勢等により耕作放棄地の増加が懸念されます。今後、農地を農地として継続利用できるように、担い手の方々と連携を取り農地の利用集積、集約化のお役に立てるよう微力ではありますが取り組んでいきたいと思っています。

編集後記

昨年に続き「農業委員会だより」第5号を発行しました。いまだに続く新型コロナウイルス感染に加えて、ロシア・ウクライナの問題や円安などによる燃料費や肥料価格の上昇で、農業経営が苦境に陥っています。

先が見通せない中で年金の重要性が改めて認識されています。今年度は農業者年金の加入のメリットや環境保全型農業の取組事例や新人農業委員の一言などを掲載しました。これからも活動の見える化を目指し「農業委員会だより」などを通じて活動内容を紹介してまいります。

広報委員長 金山 吉夫
副委員長 山田 直子
広報委員 荻原 一郎／澁木 誠治／瀬戸 一義／片桐 正敏

環境保全型農業を実践しています

有機農業というとピンとこない方でも循環型農業や環境保全型農業というとなんか分かる、聞いたことがあるという方はいると思います。

私は「米」で有機農業を20年来続けてきました。無農薬無化学肥料での栽培を失敗を繰り返しながらも、最近は収量が安定してきました。さらに、エゴマの無



農薬栽培にも挑戦しました。エゴマは搾油をして製品化をしています。

今年初めて挑戦した大豆の有



大豆とエゴマ栽培の様子

機栽培は天候に恵まれたこともあって慣行栽培と同等の収穫がありました。環境保全型農業に取り組むことで地球にやさしい持続可能な農業が維持でき、SDGsの実践にもつながると思います。

そうすれば、燕市農産物のイメージアップができます。燕市でも環境保全型農業交付金の取り組みがあり、有機栽培だけでなく、たい肥の散布や緑肥の栽培など、実践する取り組みによって補助金が助成されます。そこで、もっと多くの農家に「燕市環境保全型農業をすすめる会」に入会してほしいと願っています。

そして、有機栽培を実践する多くの若手農業者が誕生してほしいと思っています。



収穫したエゴマ

松橋 山口 均

全国農業
新聞

全国農業新聞を購読してみませんか

全国農業新聞は、農業者の公的代表機関である農業委員会組織が発行する農業総合専門紙です。「週刊」の時間を活かし、情報がわかりやすいように解説的にまとめています。

また、多くの読者の皆様に満足して頂けるよう、家族全員が楽しめる記事も充実しています。さらに、全国47都道府県にある支局の県版・地方版の充実により、地域の元気で特徴ある面白い話題や地域独自のイベント情報などの提供に努めています。

発行日：毎週金曜日（月4回）
購読料：月額700円（送料・税込）

申込先 農業委員会事務局／電話 0256-77-8251
（毎月15日までの申込で、翌月から送付いたします。）

節税対策しながら 年金積立！ 老後の備えは 国民年金＋農業者年金

老後生活
への備えは
十分ですか？



NOU
NEN

ポイント

1

支払った保険料は
全額社会保険料控除の対象！

ポイント

2

運用益は非課税！
そのほか生涯を通じて様々な税制面での優遇措置がある！

ポイント

3

農業経営の状況に応じて
保険料を増額し、節税額をアップ！

詳しくは… 農業者年金基金

検索

<https://www.nounen.go.jp>

